



# いはら陽輔

## 活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

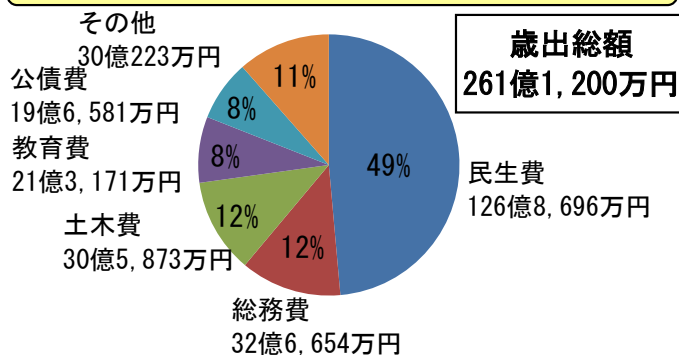
### 平成31年和光市議会3月定例会報告

2月25日～3月20日の期間で和光市議会3月定例会が行われ、平成31年度の予算が可決されました。一般家計、特別会計の予算額および一般会計予算歳出の主な内訳については以下の通りです。

#### 平成31年度当初予算(単位：千円)

会計名	平成30年度	平成31年度	増減額
一般会計	25,666,000	26,112,000	446,000
国民健康保険	7,113,535	6,371,069	-742,466
後期高齢者	716,764	742,014	25,250
介護保険	3,517,137	3,602,326	85,189
駅北口	909,924	1,023,523	113,599
総計	37,923,360	37,850,932	-72,428

#### 一般会計予算【歳出内訳】(※千円以下切り捨て)



### 平成31年度の主要な施策(平成31年度施政方針より)

#### 都市基盤

- 駅北口高度利用化推進のための商業調査
- 和光北インター東部地区のまちづくり支援
- 長期未着手区画整理区域の地域毎整備の検討

#### 教育・文化・交流

- 学校施設に関する個別施設計画の策定
- 白子小学校へのわこうっこクラブの新設
- 2020年東京オリ・パラの1年前イベントの開催

#### 保健・福祉・医療

- 南エリアに地域密着型サービス事業の拠点整備
- みなみ保育園の大規模改修工事の設計
- 地区社会福祉協議会の全市展開

#### 防災・環境・生活

- 九都県市合同防災訓練の実施
- 朝霞市とのごみ処理広域化基本構想の策定
- 新たな自治会補助金の創設

### 3月定例会の主な議案(抜粋)

#### ● 和光市広沢複合施設整備・運営事業事業契約の締結

和光市及び受注者が相互に協力し、事業を円滑に実施するために必要な事項を定めたもの。

契約金額：5,706,568,473円 契約の相手方：PFI和光市広沢株式会社 事業期間：2041年3月3日まで

#### ● 職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に準拠して職員給与を改定するもの。給料月額を平成30年4月1日に遡り、平均0.2%引き上げ、宿日直手当は月額200円の引き上げ。勤勉手当は平成30年度から支給割合を年間0.05カ月分引き上げる。

#### ● 和光市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

市立小・中学校に配置している学校医、学校歯科医、学校薬剤師の報酬額を改定するもの。

学校医・学校歯科医の年額報酬：211,000円→215,000円 学校薬剤師の年額報酬：128,000円→131,000円

#### ● 平成30年度埼玉県和光市一般会計補正予算(39,770,000円減額)

- ・広沢複合施設整備(△41,997,000円)・・・用地取得費が確定したため減額する。
- ・地域密着型サービス拠点等整備(817,000円)・・・事業所の廃止に伴う財産処分により県へ返還する。
- ・予防接種(14,073,000円)・・・平成29年度日本脳炎ワクチン接種予定者が今年度接種するためのもの。
- ・プレミアム付商品券交付(4,574,000円)・・・消費税率引き上げの影響を緩和するため商品券を発行する。

# いはら陽輔の一般質問の要旨

## 健康マイレージ事業の評価

問：昨年より県のコバトン健康マイレージ事業及び和光市独自のポイントを付与する事業を併せた事業を展開している。市民の健康づくり行動への動機づけ及び定着を促進することが事業目的だが、目的にかなった効果があったと評価しているのか。

答：参加者には1日の歩数や体力測定において個人の目標設定をしたうえで事業終了後に評価を行うが、2月末が締め日となっているため正式な評価は出ていない。しかし、参加者の評判は良好で、一定の健康意識の向上の効果があつたと認識している。

## 広沢複合施設における多世代交流

問：広沢複合施設の基本コンセプトのひとつは、多世代の快適な生活及び健康を支える場づくりを行うことである。先ごろ優先交渉権者が決定し、温浴施設やカフェが併設される予定となっているが、当該施設における多世代交流はどういったものを想定しているのか。

答：事業者からは、子供と地域とのかかわりをキーワードとして、研究施設や行政施設が集積する和光市の特性を生かして、様々な場所づくり、仲間づくり、きっかけづくりに取り組み、多世代の人々が自然と集まるような場づくりという提案もなされている。

## 統合型地域包括支援センターの現状

問：昨年より、高齢者、障害者、子育て、生活困窮施策の4つの支援拠点を一元化した統合型センターを運営している。複合的な課題を抱える世帯への対応が統合型センター運営の目的だと思うが、現状はどうなっているのか。

答：昨年5月の開設以来、順調に相談業務を行っており、平成31年1月末までの件数は9,907件となっている。そのうち複合的な案件は1,315件で、割合にすると13.27%となっている。これらの相談案件を分類すると、高齢者と障害もしくは生活困窮を複合するものが44%、子育てと生活困窮を複合するものが2%、障害と子育てもしくは生活困窮を複合するものが54%となっている。

また、南エリア、北エリアへの展開については、現段階では具体的な候補地は決まっていない。

## 児童虐待情報の共有

問：県は来年度、管轄する7つの児童相談所、支所と県内の39の警察署を専用のネットワークでつないで、児童虐待が疑われる全案件の情報を共有できるシステムを構築する方針である。市はこの仕組みにどう関わるのか。

答：このネットワークに市が直接入っていくことあるいは情報提供を受けられるようなことは今のところ情報が入っていない。市は現在持っている要保護児童及びDV対策地域協議会を設置しており、児童相談所と警察署が関係機関として協議会に参加している。この協議会で得られる情報が新システムで共有され、あるいは、協議会に必要な情報がこのシステムを通じてもたらされることを期待している。このシステムに関しては詳細が分かっていないので、児童相談所及び警察署を通じて確認していきたい。

## 障害者への学習機会の提供

問：障害者の方は特別支援学校等を卒業された後、あまり学習する機会がないと伺っている。就労する際に有効となるであろう、ビジネススキルやITスキルの学習を支援すべきと考えるが、支援状況はどうなっているか。

答：現在、就労移行支援事業の中で、ビジネススキルや面接時の訓練を行っている事業所もある。また、ITスキル訓練を取り入れた支援を行っている事業所も市内にある。

## 和光北インター東部地区土地区画整理事業

問：環境アセスメント及び地権者への合意形成の状況、平成31年度のスケジュールについて伺う。

答：環境アセスメントは、大気質や騒音、振動など17項目に及ぶ季節ごとの現況調査が完了し、平成31年度は区画整理の土地利用計画をもとに予測評価を実施する。合意形成の状況は、地権者組織である組合設立準備会の役員会において業務代行方式の検討を重ね、その後地権者説明会を開催した。現在は地権者への個別訪問を行うとともに、業務代行予定者を公募しており、年度内に役員会で選定する予定としている。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

## infomation

### 選挙日程のお知らせ

- 埼玉県議会議員選挙

4月7日(日)

- 和光市議会議員選挙

4月21日(日)

※期日前投票所

イトーヨーカドー和光店 2階  
和光市役所6階 602会議室



公式ウェブサイトをご覧ください  
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke